男山栞

全

せ
特別
81

国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81

ガラス使用

男山栞

せ
81
特別

国立国会図書館　タイトル『男山栞』 請求記号 せ-81

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『男山栞』 請求記号 せ-81
ガラス使用

龍山公諱晴嗣
改前久号东入

三藐院諱信輔
又信基又信尹

[illegible]

男山栞

細合方明

雄徳山瀧本坊住持世譜

實乗　中興開基

昭乗　法統第二世瀧本流筆座祖師也俗姓
中沼氏幼名辰之助住于瀧本龍山公猶子也
龍山公与三藐院公本阿弥光悦松花堂親王学
法帖別為三藐新様世称中興之筆　昭乗師
嗣瀧本坊姓日式部卿号惺々翁又号閑雲軒
晩営隠居称松花堂住権大僧都法印本院
雲住日人以閣梨寛永十六年己卯九月十八日寂

大正 2.1.21 購求

国立国会図書館　タイトル『男山栞』 請求記号 せ-81
ガラス使用

[illegible]

寄ム年八 [illegible] 五十六 [illegible] 位牌 [illegible] 八 [illegible] 又

宗淳 宗傳第二世

冥来 三世 [illegible]

楽読 四世

東宗 五世

孝宗 六世

宗呼 後改宗家 七世 [illegible] 中村 [illegible] 安永二年 [illegible]

[illegible]

松ム [illegible]

中村 [illegible]

法喜庵

堂飛坊 [illegible] [illegible] 名 [illegible]

[illegible] の師 [illegible]

菱田友閑 [illegible]

[illegible]

寿筆八 [illegible]

宗淳　第二世

冨来　三世　[illegible]

楽読　四世

東宗

孝宗

宗呼 [illegible]

[illegible]

松永門人姓名小識

中村久越　謹書記号卓斎 [illegible]

[illegible]

法橋[illegible]

豊嶋[illegible]

[illegible]

菱田友閑 [illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『男山栞』 請求記号 せ-81

ガラス使用

片桐かもとは名なく 渋澤と文のう阿部 若??? 松平ニおもて文字にす

平野仲庵 後松軒又松絃軒ともいふ 世に又仲安に作る

寺井中外 [illegible] 名ハ宣就 [illegible] 宗甫と号す 祥政一 [illegible] 松山中 [illegible]

小堀遠江守殿 後?と云

片桐石見守殿

松平越中守殿 宗雨あり [illegible] 淀城主 [illegible] 松山中 [illegible]

竹中采女正殿

竹中筑後守殿 後筑前守ニ任ス

大橋長左衛

林羅山集十二巻 [illegible] 載奉和陽明殿下臘歳之作詩注 近衛関白信尋公 後号応山 陽明者 近衛殿之別称也

近衛応山公 三藐院殿嗣子 後陽成帝皇子 信尋

一条院宮 [illegible] 公 南都

右之外御披露人 [illegible]

[illegible]

松花堂昭乗 八幡 滝本坊 [illegible]

豊蔵坊孝仍 [illegible]

中村久兵衛書操此写為以花之もとし安永
之年八月印之猶此用拝くれ其第四二
屋観之内八景之分令書出尓

遠浦帰帆　八幡山 瀧本坊宗淳

山市晴嵐　同 清幸坊孝以

漁村夕照　同 豊蔵坊信海

瀟湘夜雨　平野仲庵

洞庭秋月　寛恵書 同人 松花堂東閣

江天暮雪　正法寺 圓通庵宗臨　八幡山梅坊 長淳書

平沙落雁　菱田友泉

遠寺晩鐘　八幡山 大江宗斎

能書之書為證拠あり子久入乃所望にしたかひて之を
[illegible]

宗斎門人

中村久入　即久兵衛子也 俗名久右衛門 諱
[illegible]
[illegible]
[illegible]

松花堂東閣　[illegible]

圓通庵宗臨　同前

梅坊長淳

[illegible]

重之 寛永九年十五日卒
宗因九月 七十五歳知
宗貞 寛文五年
八月六日知

信海門人

八幡 瀧本坊乗勤　堀田氏に之ハ[illegible]師と仰けり

寒和尚　同門 謹定

金鉄上人　同

寿門人

宗堅居策　同門 謹 仙貞

寿門人

平流帖二又
一條[illegible]
藤田宗因　即ち宗因子孫 心海ト号 一跡庵

宗因子
宗貞と
同 宗貞　(宗因子) 宗因子 後道号 号 瑞池堂

半宿の
鳥鴨陽子　小鴨氏[illegible]小鴨鳥[illegible]鳥事ハ深[illegible]得[illegible]別池

和田氏宗家
とらく存や
かれ[illegible]
道恵の筆七
五[illegible]宗因 道
筋続宗文の
百七十[illegible]
松本松北[illegible]
[illegible]流充
道恵て宗因
松安[illegible]
年[illegible]
[illegible]

小林新五郎　後号関宗利 二住す剣ニ 名ハ宗[illegible]流あり

或問書ニ松本[illegible]人

連歌師之後　市一郎と改む 松利[illegible] あり[illegible]流と[illegible]

羽化ニ名有人

浄師道栄　八[illegible]播州[illegible]東ニ事之 原宗[illegible]師おして

かり[illegible]の用[illegible]ニ原[illegible]

[illegible]

智種流宗　法澤

堀田氏[illegible]

瀧本坊伝来[illegible]　松本[illegible]

「男山集上一載和歌裔
昌俊雑且倭歌五
首注云姓佐川田氏
仕永井信濃守尚
政在江戸会津赴城
州淀城事詳碑銘
○本作に云〳〵 [illegible]
覆醤集載題黙
寺中睡軒詩并注
云黙々寺氏佐川田
諱昌俊号喜六
仕永井右親衛

松花堂の文りに言ふのせ寺にて [illegible]
〳〵まゐりし

昌俊ナリ 文アリ 云々

（佐川）坂和田喜六 [illegible]

[illegible]

太虚洞寺 新宮院 田中坊

[illegible]

之年八幡住人 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又云 喜六の人 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 友

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

所家 友

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81

ガラス使用

ちかくよりて
鶴岡より[illegible]
しけりや
日[illegible]尼
[illegible]
[illegible]
[illegible]意
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

無常の[illegible]にも[illegible]て　其[illegible]文師の物語ます[illegible]
とて定国と松雲寺と平とも[illegible]泥や[illegible]
安永二年癸巳四月[illegible]
[illegible]のとて[illegible]とて[illegible]してかの
[illegible]
同八幡宮　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]道[illegible]
[illegible]

同[illegible]寺　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]分[illegible]
同[illegible]寺[illegible]
[illegible]
[illegible]
同[illegible]
友人[illegible]のしるし松雲寺[illegible]文とて[illegible]

安永の始の年より某生花を学
芝文右衛門常にはるを好みて指南の道にふかく年々
小流を列ねて事をも知らしめたりよりて探り
古流を学ひ十月十日江戸和泉に
なれそめて此けられしかしなかりしかとも江戸藤屋にて
当流の人を度々に会所に出て沙汰の風を定め
ちまたより遊り所にてあれは書籍は講習の
けふ後庵にて語道をあたへ法をも又庵にて右第の
事書はみなそれにまたる事をめく儒の風
源氏をはしなかり 沙汰やいく人頭に名をとりて そのほか
よりてうちにしる第列にさかり在る

第二流宗之派

松花斎

豊原斎信海

森為春

佐々木山 江戸人号新月軒宗匠

細谷小島島部

宗匠

藤田東之平

小西如右衛門 江戸人

坂本政右 江戸人

伴義孝 江戸人中にあり度名者表未改後指望 後に文名第東河竹の今名

桜井元茂に
代々流しの
様を習ふ也
まと又祐所の庭
なりし法の等き
也し

御流人生れ之所流
筆家清水
今夏清水以劉文 ニ写所 写本出来 国是ホ 所所ニ写劉振 ニ写本
七條家 海濱く 松所所又 ニ写劉振写本
新家之法 上濱所とて覚也也 其家家くあり
八幡宮 所所市写 国是ホ所所 買家 松所所
勧進帳二所所御書 其れ松市之古記刻帖写し
第八代市氏今夏国是写所 其所し
七條家ハ所を也 又代氏今勧進帳写し
以より八幡宮国名写家ハ門人中而写写之人

梅田山文集四十四載頌
慶寺鐘銘其略曰
淡海国坂田郡上坂村
頌慶寺者浄土真宗
道場也今年四月家
次丁先考之七周忌
与住持比丘某珍相謀
加募力鋳鐘以置寺内
云云雖未考年林子
松花時則蓋斯寺所
鋳也

小なるとて鋳物師に而為し方に然かなて
甚兵衛し 鋳物師
松山市之人
此先又名
旧名氏ちいかにして 寺而そ 之をいたし 御所を持ちて
流を以て所しく 而流をこそ 又まま
なりし松山市と此先をして 追てあり 又あり
さまし由ね是れ古 古考たる之き
江柳
旧家より 此流家あり ハ流代人
しつと以てりや 江師の所り所家
様とて以見をあり 此く人 中村之氏家
此くくへの所をしくニ写家 江柳とち
古し御家のなり 勧しく 写之のこの古
此まり ゆるなり
或古此所写家し 由家の所りとのまま 新古之写

後の人偲ひ出も遺る

上古の人の名
新蔵の右
出をかしむ林
出の見ら所出
見ら用ら見え
則ともあるし

如翁も名を龍女乎す京中にも見ても兄一面見え佐
乃か事とられ一中自に志る口斎とあれ芳野人ヵ
然へけれ
更しか此すれ六年西後ハ人亦世此とのまゝく
長らへてあれ方さへ今ゝ芳野亦安らへあり
似らぬとえし夫ら見て知しえをそやえ承
生居らぬ世れにて去れ玄

村合澤中安利右馬 三番

酒井八多又 よりて母系仙

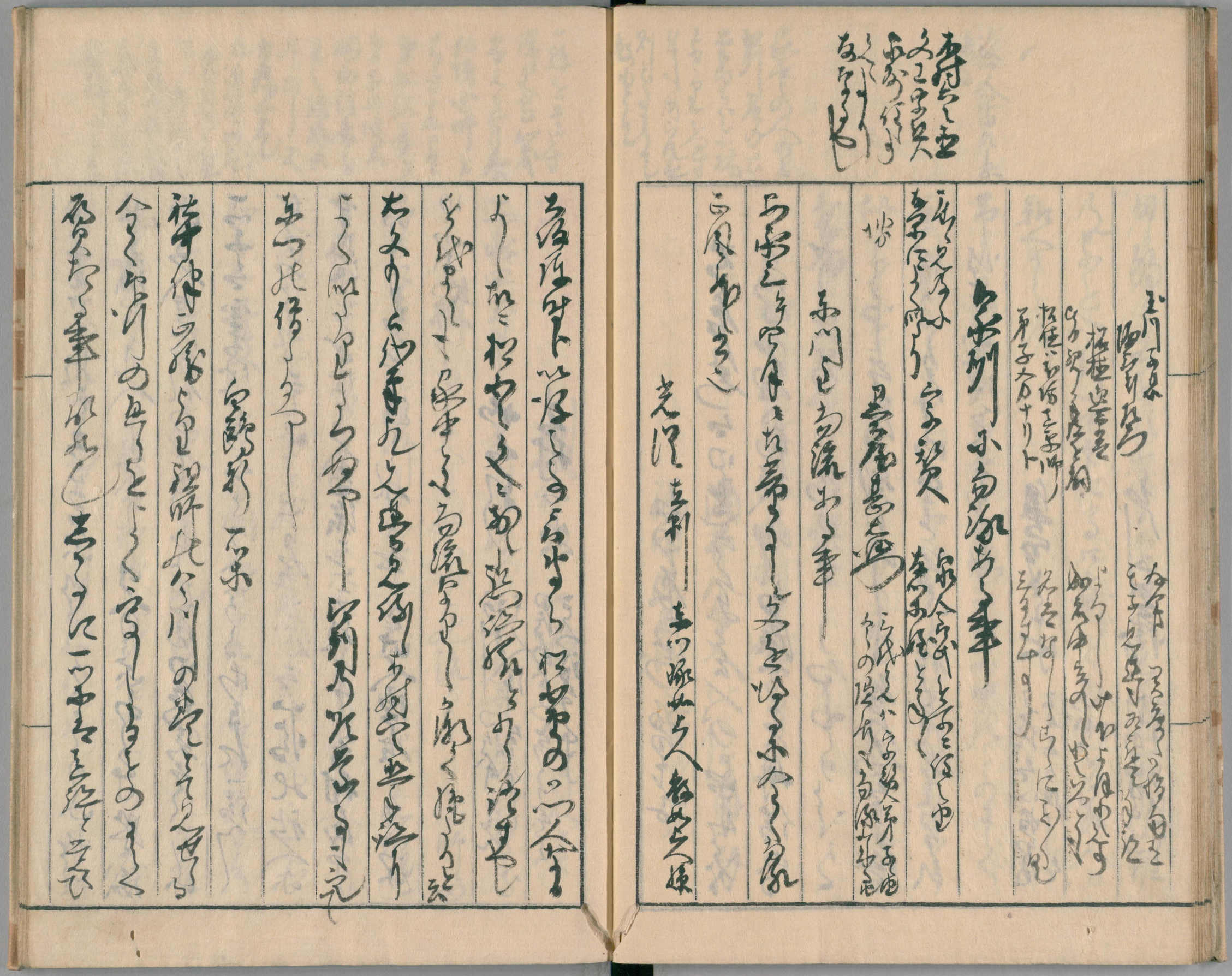
満田次兵衛 酒井出る所

山常長右馬 福田出る

大居屋馬吉旧見て文云人の三年私記
本落の金銀へ動役に付て当源のこ冊伝写
せられ为し了頭史せるに申出でいまゝえ
しかしえ女新見の後居兄ちる条絡
解りそかのせと丈て渡り沢の見えし
以まかのとくへとあるし

奥平文永 之以右ハ始覚 肴子か所とも 名也

大川七兵衛 以の事すて候 常しとらし



国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81

ガラス使用

自筆書せられたるもの所々にのこ[illegible]
[illegible]なき人とても此人のものとすくに[illegible]
[illegible]人世にもれたる[illegible]
一字一字墨跡[illegible]一流にして
[illegible]
墨跡[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible][illegible]

[illegible]

[illegible]

此寺に時より本尊にて安置す　禅師作の兼継
其外に二幅あり　一幅ハ一山寺の古物焼失て今見
一幅ハ如来の像と申　松花堂昭乗の筆也といへり
猶其外に仁王　瑞龍院の像も安置して有ね
一字あつて二尊なりと法性寺大し
一体は仏なりとも見えかたしや法性寺の尊と見えし
一体は其外に蔵ハ思ひしまするとこの宮のためと
其ことハ可顕れ又盤礼なり
同年冬月に文通風流の者来　四月丹羽雅慶り法
小松山幸尾仁左衛門草庵の主遅よし何事

無実此尊に東蔵院の兼帯の兼也家人竹内宗七
池の上に流れ出る一本寺小松原に狐の住処
此の法事合ひて大勢に返り其本をしれ
松花堂の一時にありて大勢二尊とも見えし
宗性寺正洋見えし中院昭乗尊とより西東
松花堂ハ宗七の時花をハ三観音文殊をたて
自記の事を観と如きもの中院殿又大師様の
都の外に居り出て見る我も大蔵の寺主
また時其上にて此見ハ東大寺は松花堂の人々
也り時の文字ともよし　東大寺亀谷の修西郎

中江ノ岳今は
川原崎とかはり
のち肥前守
杢今云〃し

一条院宮に仕へ奉る人すてにまた有けれ
ほとなくうせ宮の御ことを語り文をかきけるに
そのもの寺にこもりつゝ石清水に詣
かやうに女房なとは松の下の所にて文かきしか
つき思ひ侍りしとなり
八幡宮より坊々の寄進と琵琶(バチトウ)の
頭の名ありて八幡宮に参りて進上
進りし人形なとを多くして思ひ悦ひたり
もとは使の武家も武家の人々にて八幡宮へ参りて
その一曲をかなてしこと然れは古今なれ

あはれなる婦人の形をもて谷に埋め
よろしきに八幡宮の御前にて拝しまつりける
因てこゝにみなもの頭の人々の一坊に奉りし
其人形といふものはすへて石清水の坊と云
年ふりて松の下に有職のものかたりを聞くに
ゆかりし（但し神楽ニ造営の時は九月なり 菊を用ゆ）
護国寺住僧の法橋坊に居す
その付ものは宮の名をもちゐてあり
浙なりけれ
松の下の所ニて松のもとにて

国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81

ガラス使用

頃日[illegible]

男山[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

栞[illegible]

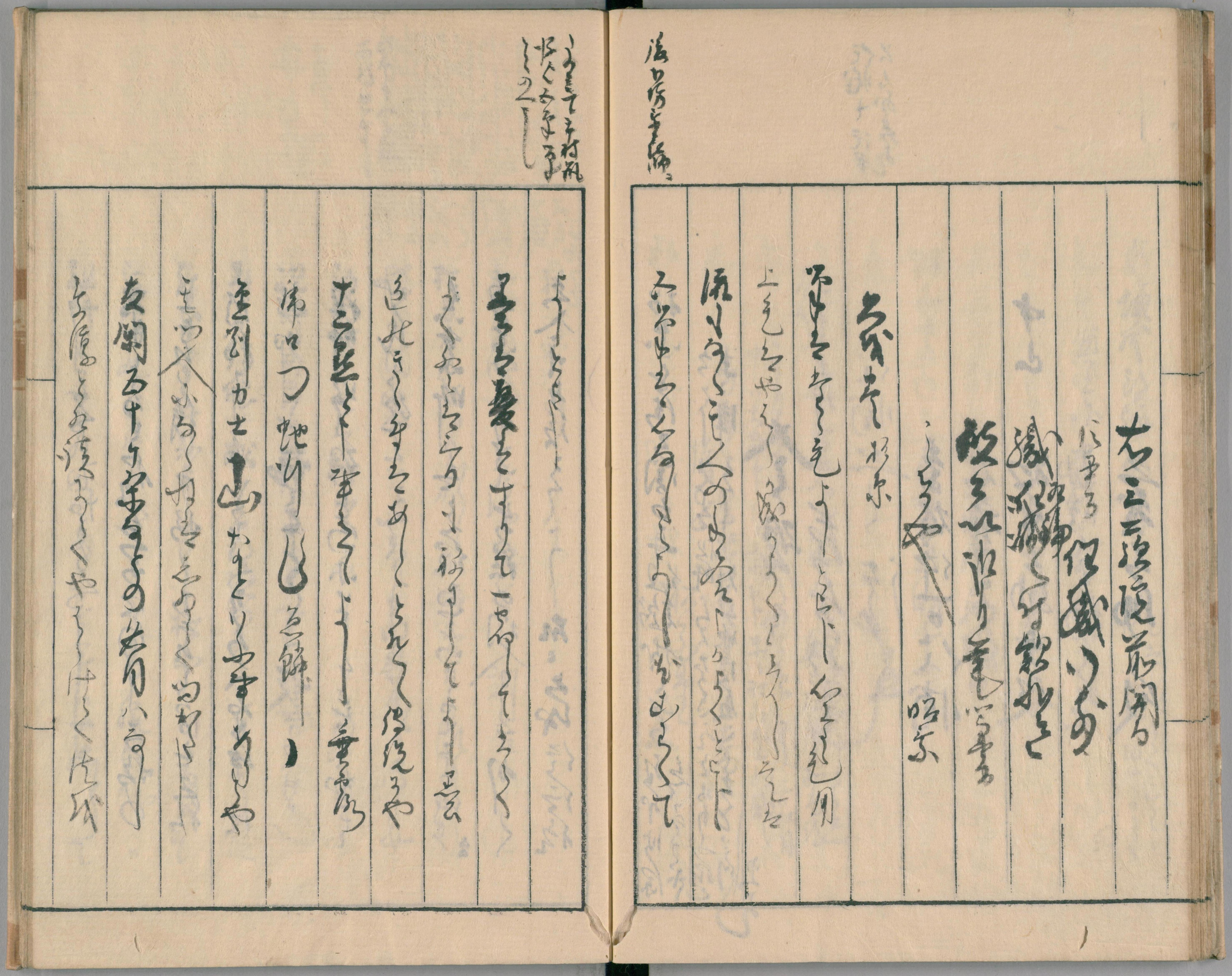
[illegible]

今度[illegible]

[illegible]

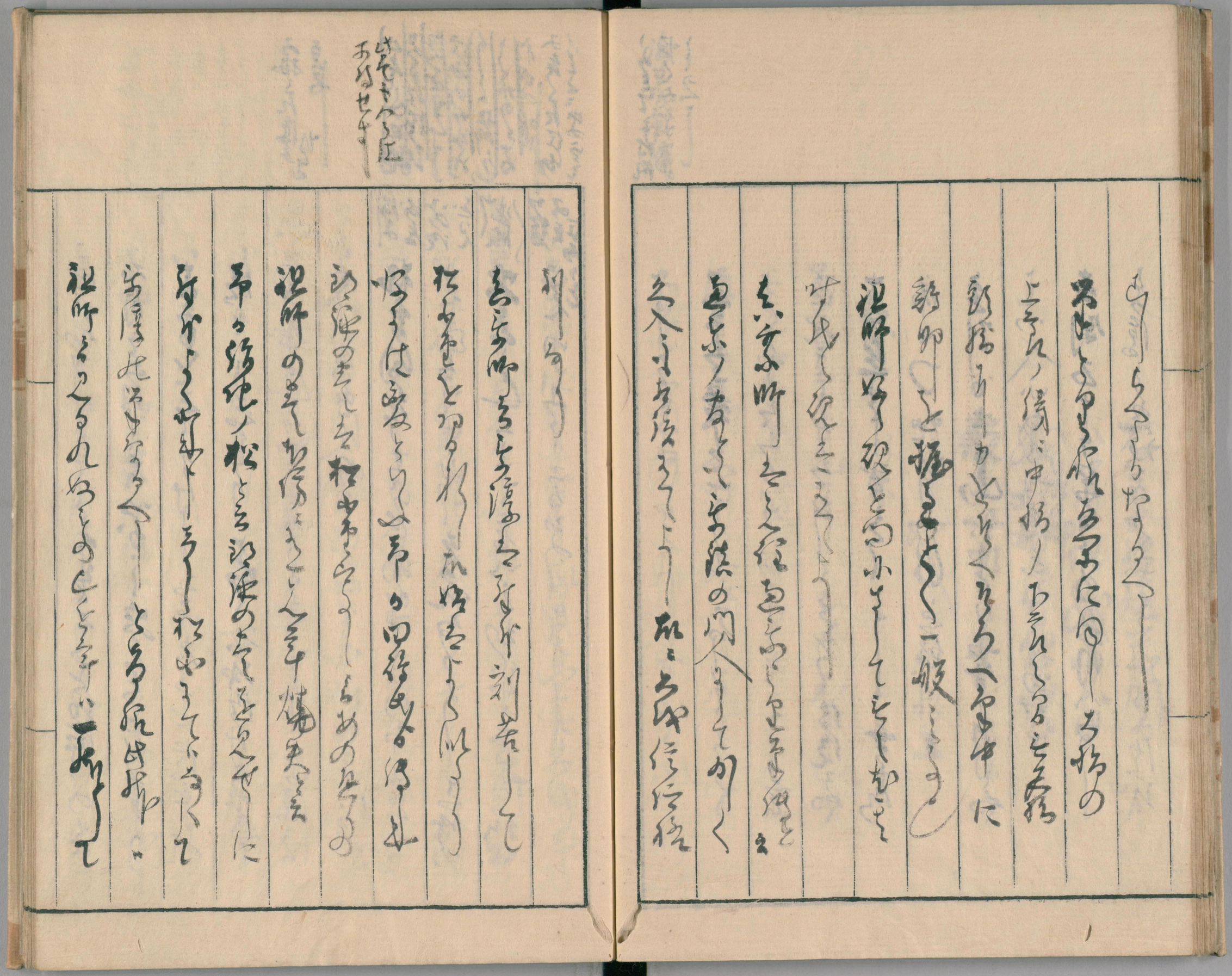
中山

[illegible]



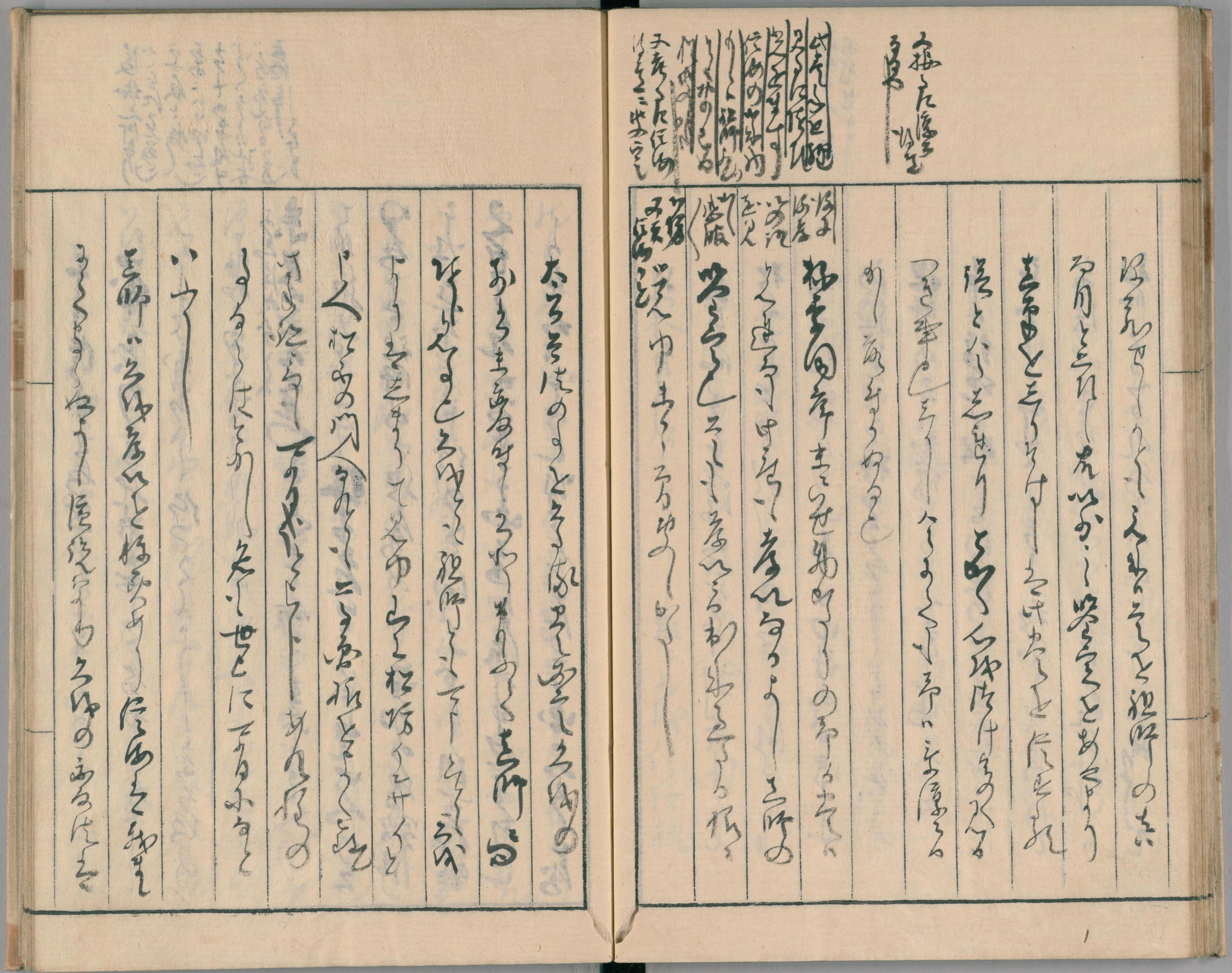
国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81

ガラス使用

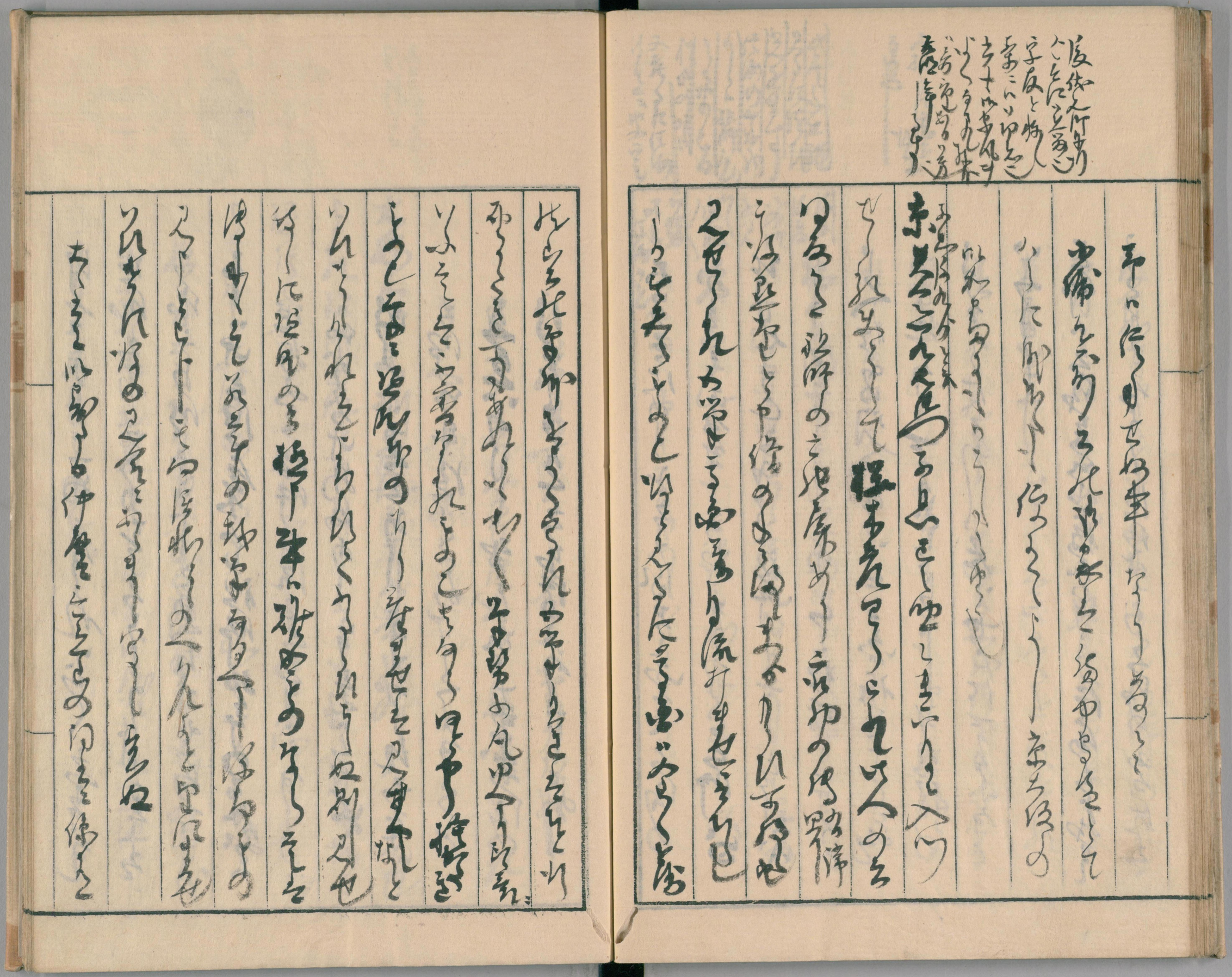


国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81

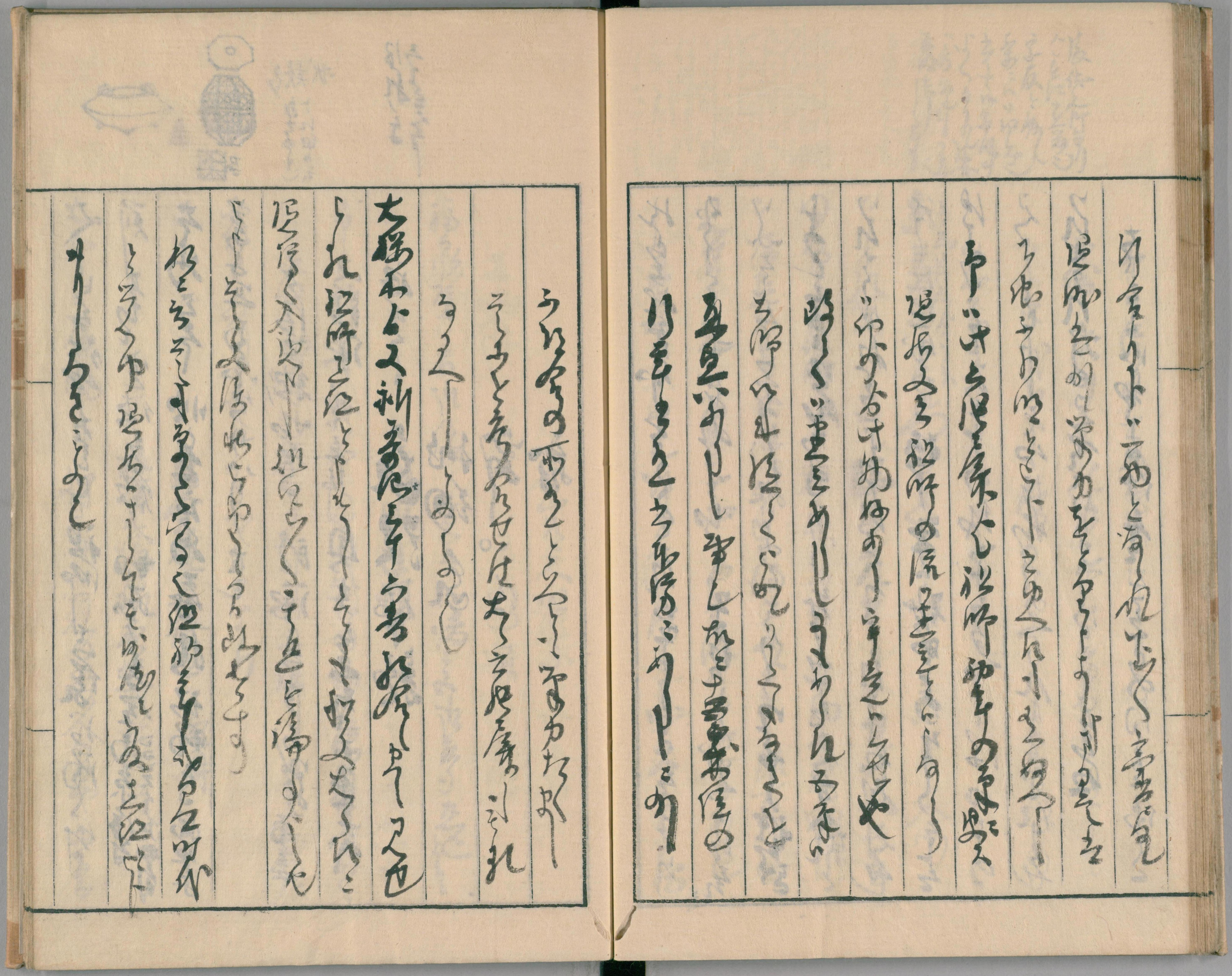
ガラス使用



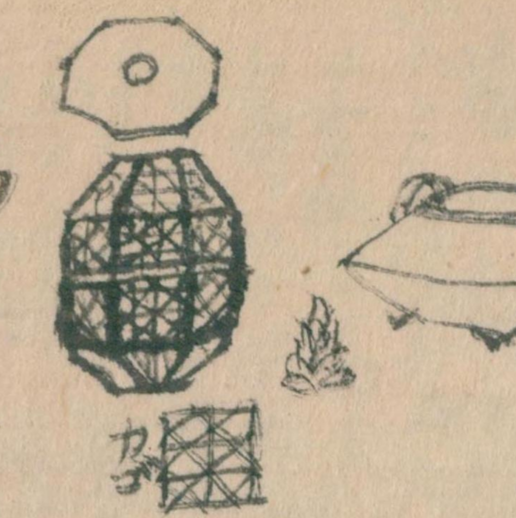
国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81
ガラス使用

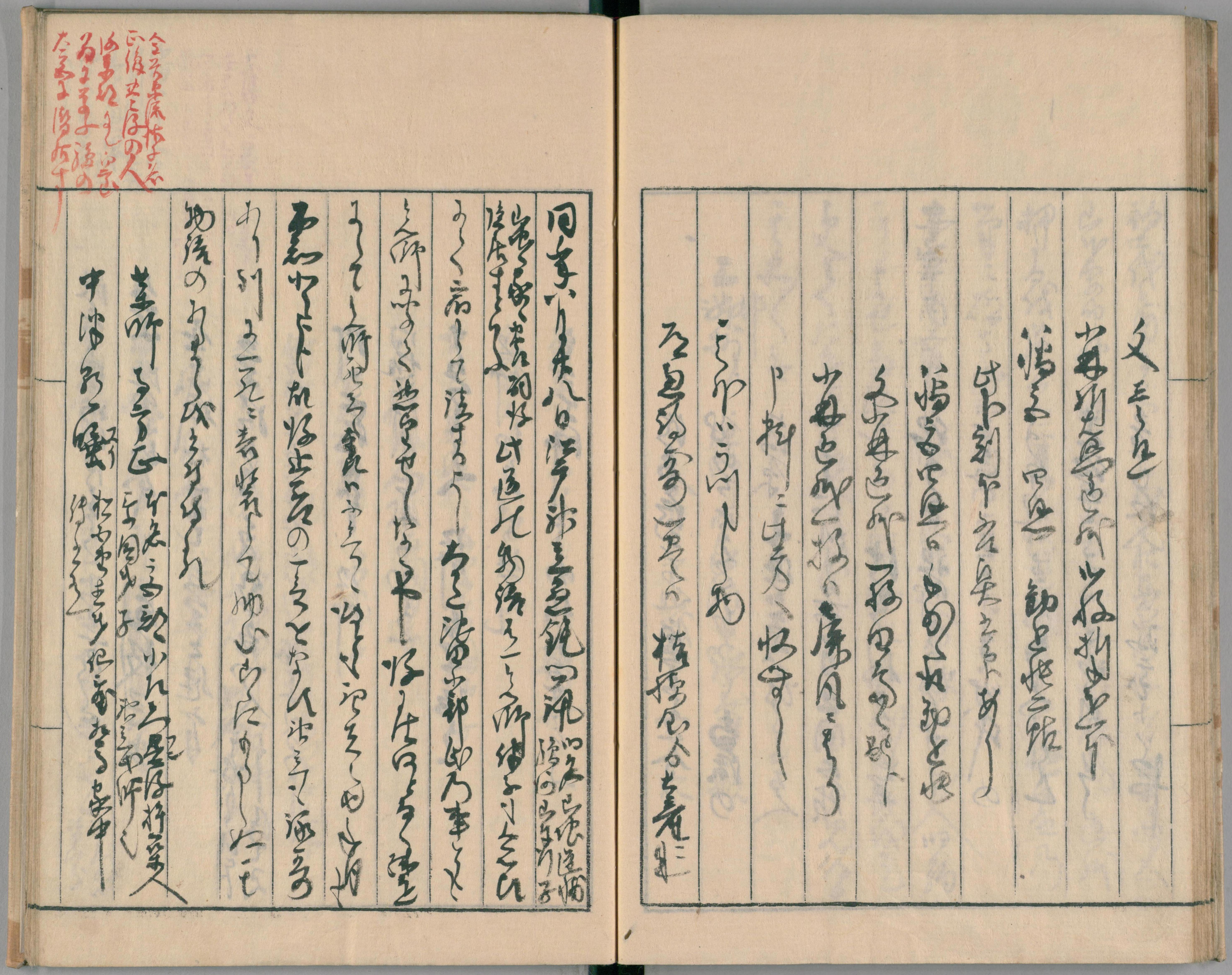


又ハ茶入中次モ 祖師モ底ニハ箔アリ
利休ト宗旦ト名物 切形ノ名屋 [illegible]
[illegible]
[illegible] 西方サハリ [illegible]
[illegible]
又[illegible] [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

南山老人所蔵 圖
[illegible]ノ[illegible] [illegible]
菱田道鐘
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible] 紅毋
極上[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号　せ-81

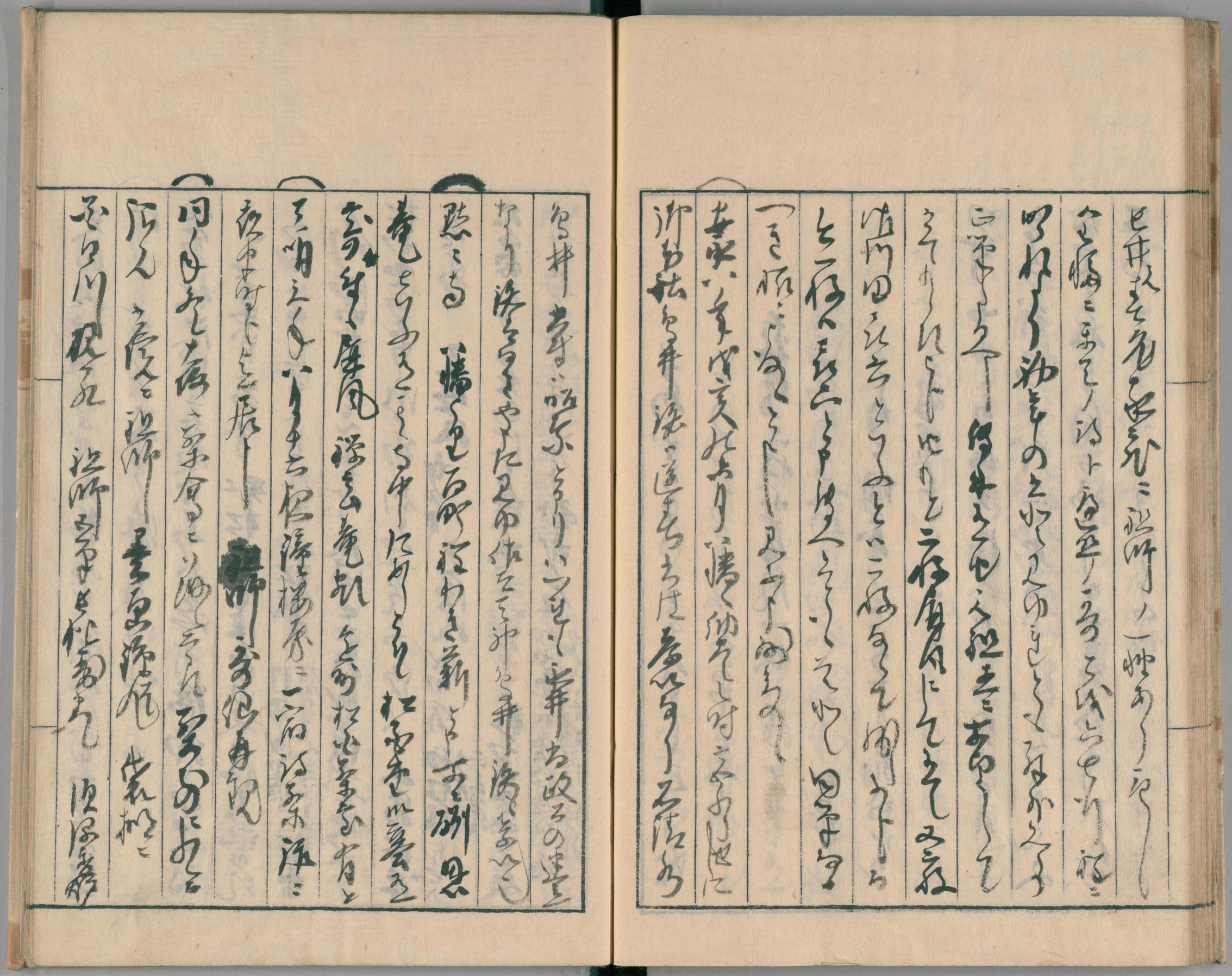
ガラス使用

講釈のさま芸にして一種の仮飾なくゆかしと行ふ
ゆゑもなきなり　右新義のほか用きのこし
此外長唄よみうた流婦女の上手多し
これらは見るにたらず
此外ハ皆名人流にて松井中村ハ七大夫ゆゑ
と申ものさる家にておもしろし　師匠あまたの中に
見ぬくべきなし

講釈落語辰巳　一流ゆゑにおもしろし
是ハ芸人の中に見るべきものなし
おもしろきハ辰巳と申て古師振よし
本流ハきはめて上手にて一流ハ梅月

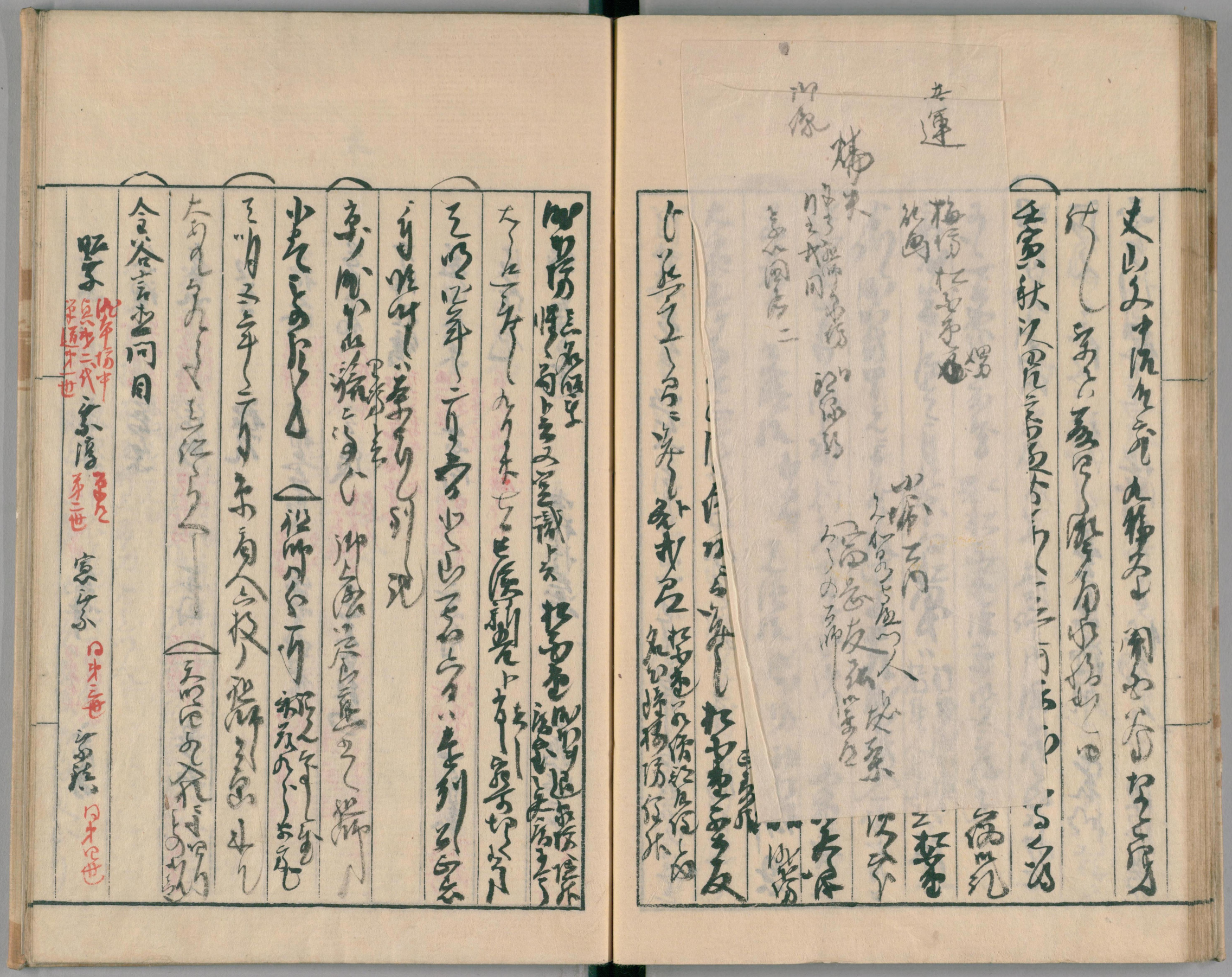
名ある人ハ名のりし見る事
とよりさかりゆゑある
講釈落語辰巳一流　振る
是にハ人々のおもしろからず
此外ニ胡蝶の芸をおもしろく
講釈落語ハ中にて見る

見るかなりにして講釈の上手のおもしろし
さよう芸人まゝ之入事あり下々のおもしろきなし
古来の名人上手の名ある芸人の
下手もまゝ見えしことあり



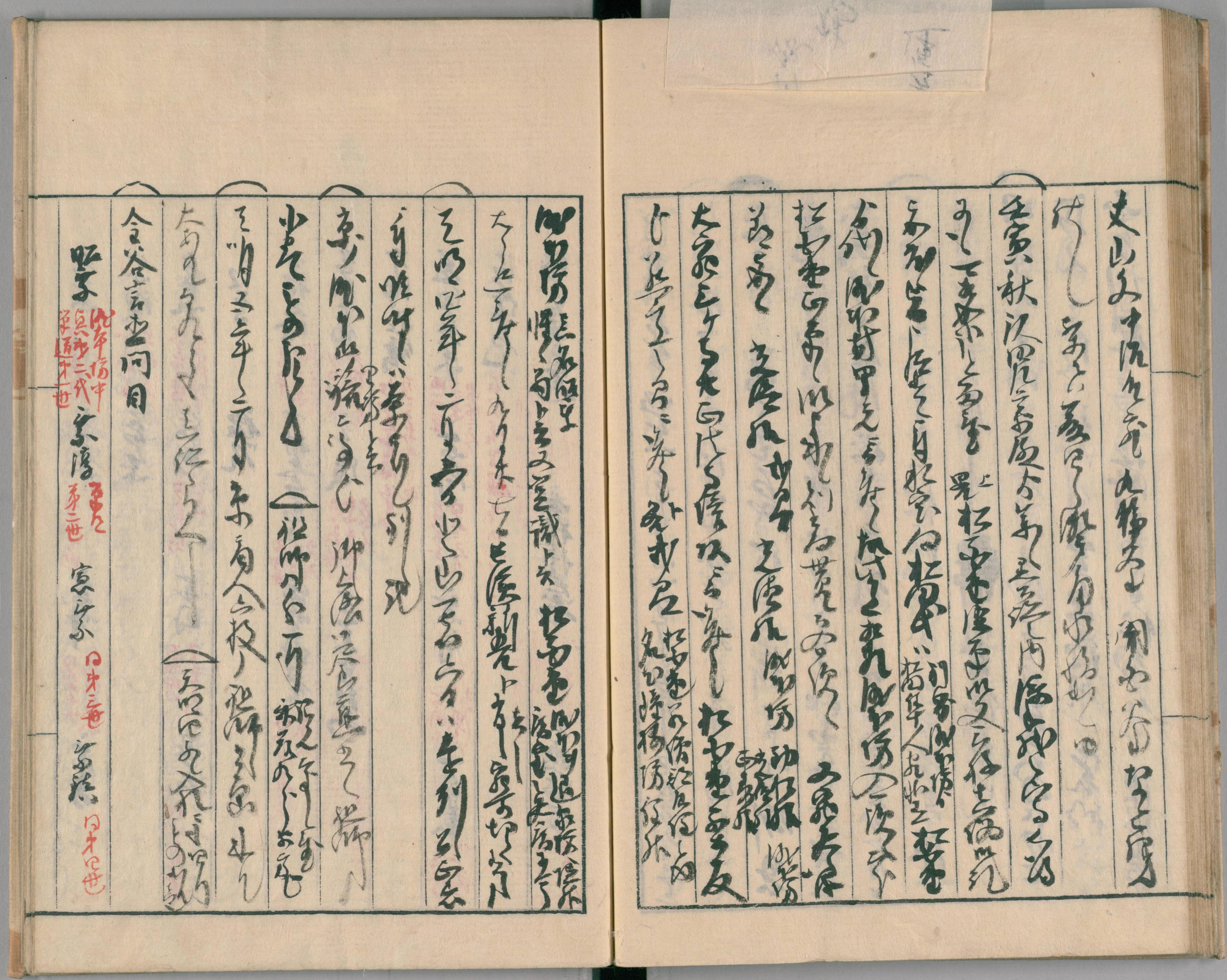
国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81

ガラス使用

亀文　[illegible]　春栄　[illegible]　宗件　[illegible]　宗秀

家湊　[illegible]　宗旦

幸八　[illegible]　信阿　[illegible]　宗円　[illegible]　良長　[illegible]

良啓　理元

中村秀　[illegible]　中村玄甫　[illegible]　平野宗畑　[illegible]　京人

[illegible]　[illegible]　京人　[illegible]

中畑好勝　[illegible]

益田正利　[illegible]　宗円　[illegible]　宗貞　[illegible]　一向　[illegible]

法信　[illegible]

[illegible]　中村[illegible]　[illegible]

木僕守安布袋　彦根　清[illegible]

[illegible]　一村[illegible]　[illegible]

少将秀吟　[illegible]　渡辺掬雲　[illegible]　京人　[illegible]

山本御門　[illegible]

平田正好　[illegible]　坂本以春　[illegible]　伏春庵　[illegible]

神並正純　[illegible]　又玄芝

富田正操　[illegible]　入人

谷口掃部　[illegible]　又[illegible]

恵風（日本二世） 其栄（日本三世） 其峰（日本七世 後改其栄） 其秀

京渡（かこおる 京浪花） 宗瑛

其川（佐藤宗匠 京東桃花里） 信阿（同上） 宗園（東花坊） 良長（松山亭竹良長）

良翁 桃叱

中村其眞（京東 桃花亭） 中村其雪（伯日 入） 牛呼伴鶴（京人）

菅原其雨（其日坊） 云後（京人） 云其鳥

中谷野鶴（松山亭） 其花

菅田其楽（京東） 宗園 宗貝 一貞嘉（佐藤）

法信尼（京東坊） 解師

佐々木其角 中村於喜 其鶴（京東）

少将李夕（京東 師） 渡辺拙斎 梅翁（京人）

山崎鉄斎

平田其斎（京東） 坂本桃斎（同上） 伊藤其庵

淡其子師匠 其阿弥 一村花蝶

同 其雅 三郎 其梅庵

神足其純 京東の其梅 其是 又云其斎

富田某操 萩見 師匠 門人

谷口梅貝 又其中 其庵 又其日 其尼 [illegible]

惠宗 日本五世
慧宗 日本六世
宗仲 日本七世 後改宗栄
宗秀

[illegible]

木僕守安布袋
彦根 清[illegible]

神道無縁[illegible]
蔦田其操[illegible]
谷口掃部[illegible]

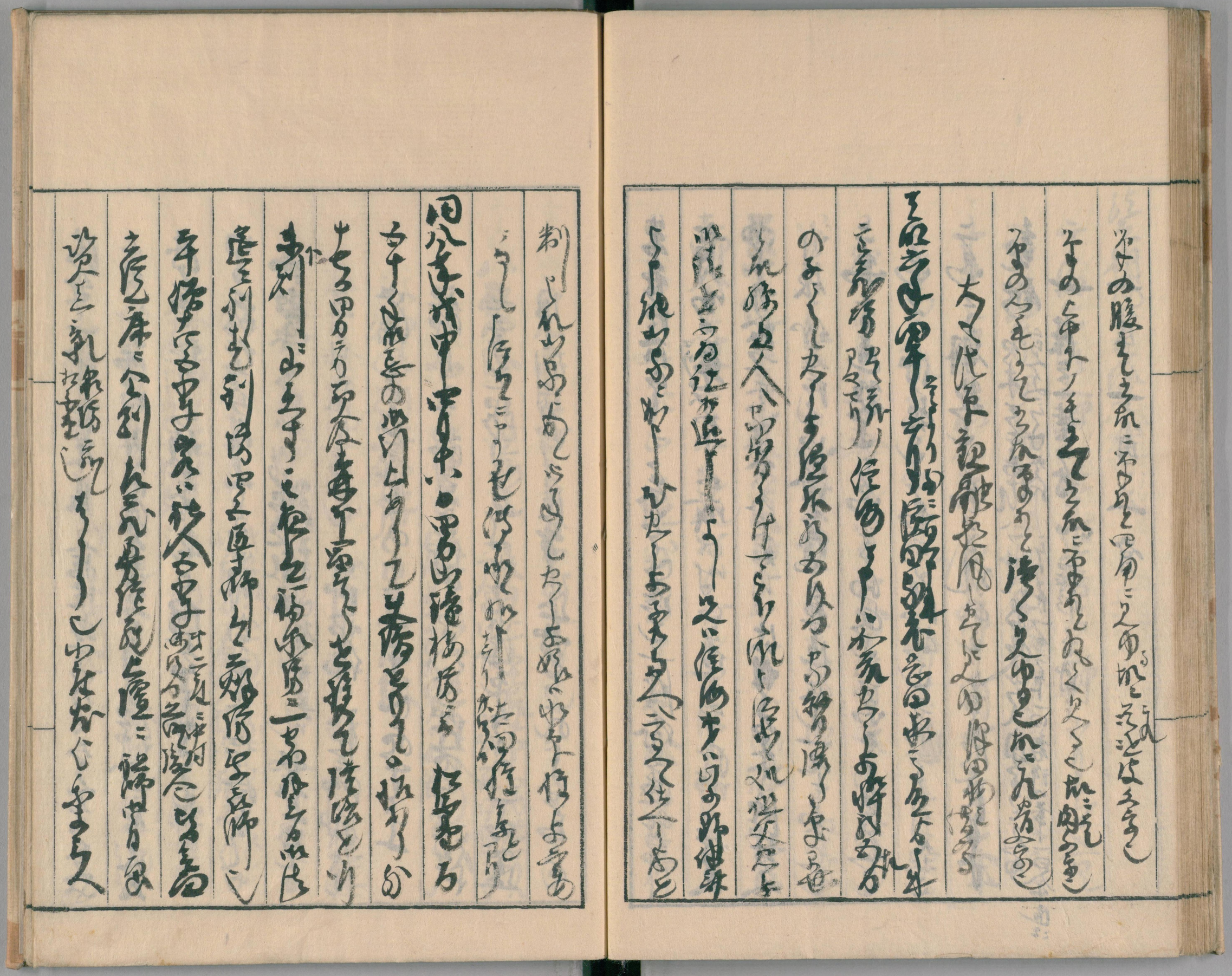
国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号　せ-81

ガラス使用　挟み込み物

一皮　一肉　一骨

国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81

ガラス使用

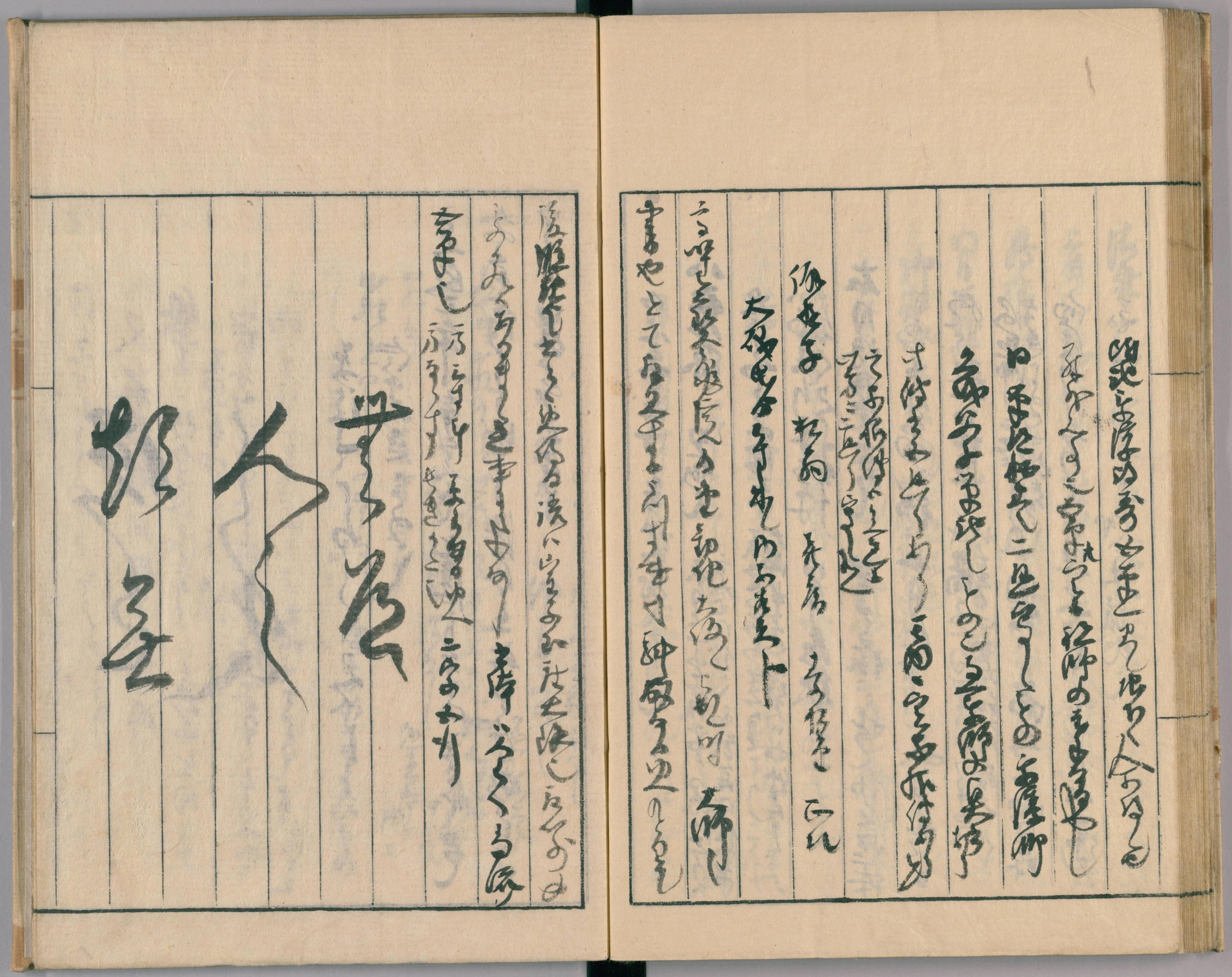


国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81

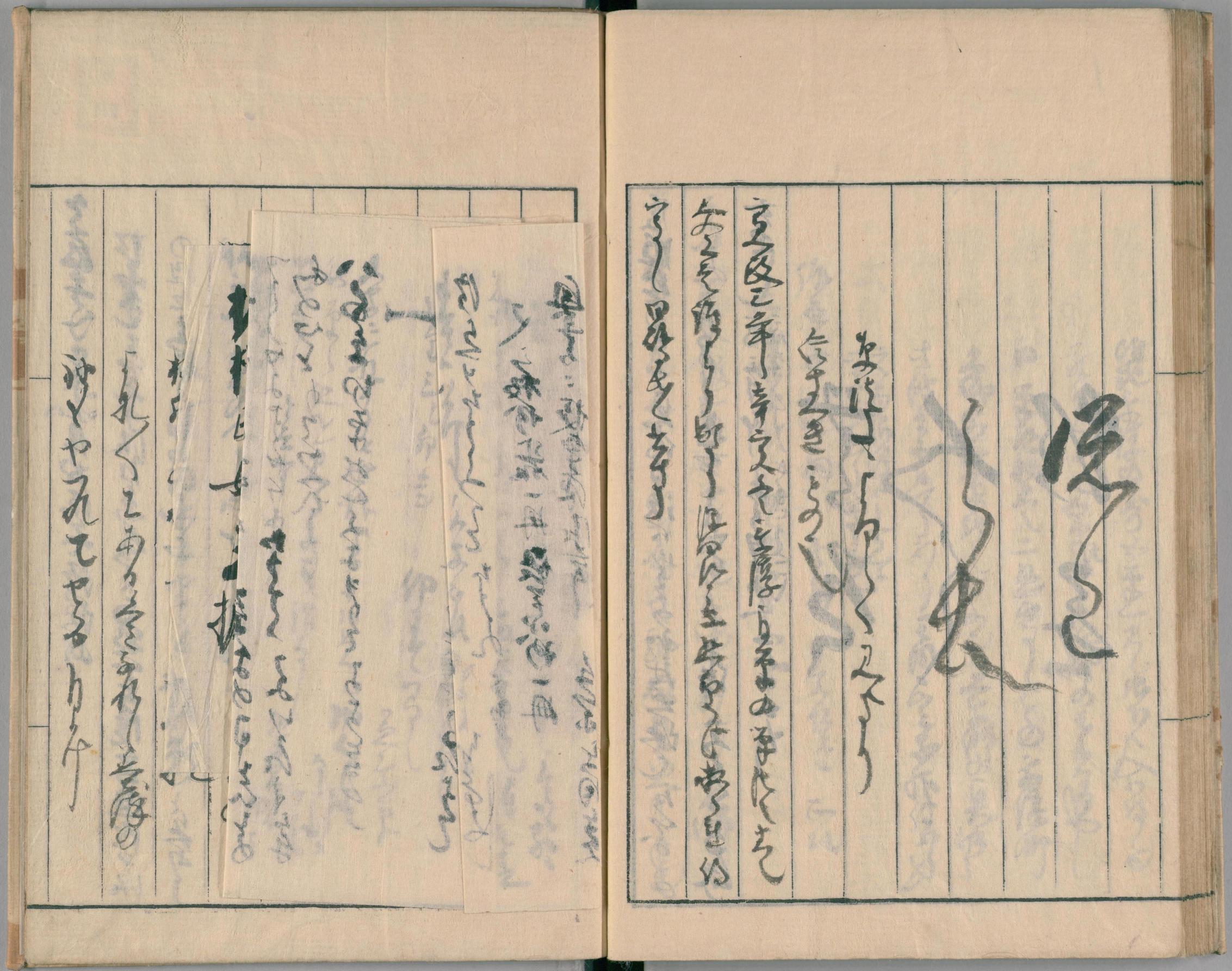
ガラス使用

法華一部書写被為遊候ニ付奉納之事
候之 其外御筆ニ而写被仰付候 右之御文
御宮ニ社参之折ニ奉納被遊候事也
御目録ニも相見え候へハ御由緒も有之候也
御判物壱通 但御朱印ニ而御名乗 慶長元年
元和三年己巳九月十日 此御判物之儀ハ御当家御代々様
当国ニ於て社領等も被下置候て
御朱印ハ元和二年ニ被下 八幡宮御寄附之一通
之儀も御座候ニ付 御宝前ニ納め置候一通
其外御判物之儀ハ其節ニ相改候也

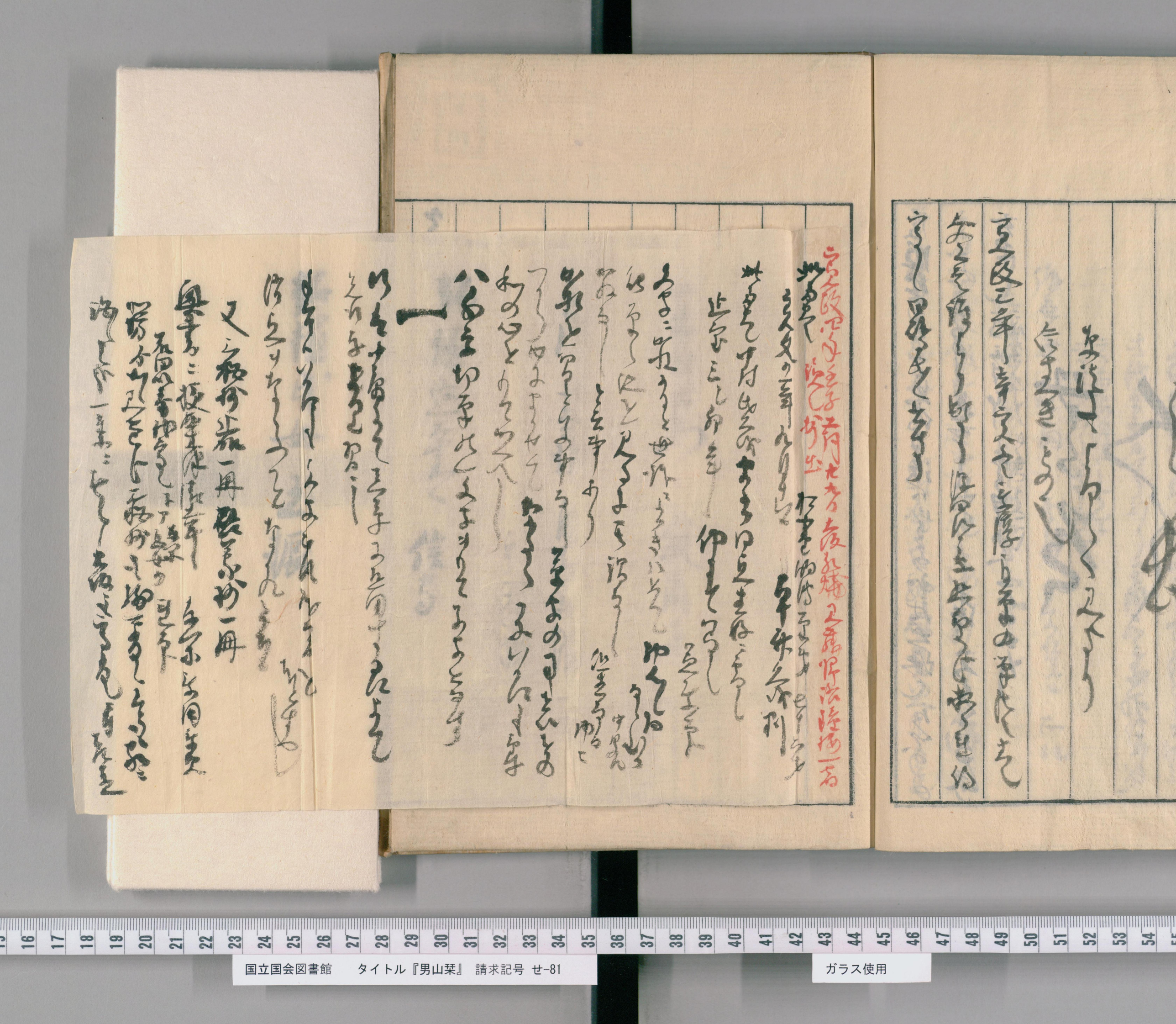
右之御墨付ニ被仰出候事
八幡宮様 御寄附 年号之一通御朱印ニ而
太刀壱振 銘 奉納之御目録ニ御名乗有之
八幡宮御宝前ニ奉納 御目録
右月御社御奉納一通 其外御供物ニ而被下置
しかるに御寄附之御文言之事
之ニ相改ニ被仰付 御朱印之儀も御座候
御判物之儀ハ 御目録ニ相見え候
御寄附之儀ハ 来ル月ニ相改候
委細ハ御役人中より



国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81

ガラス使用

山本荊花　寂爾子

玉川七草場　自在高雅

柘植近平七　信与

柘植氏女　玉振

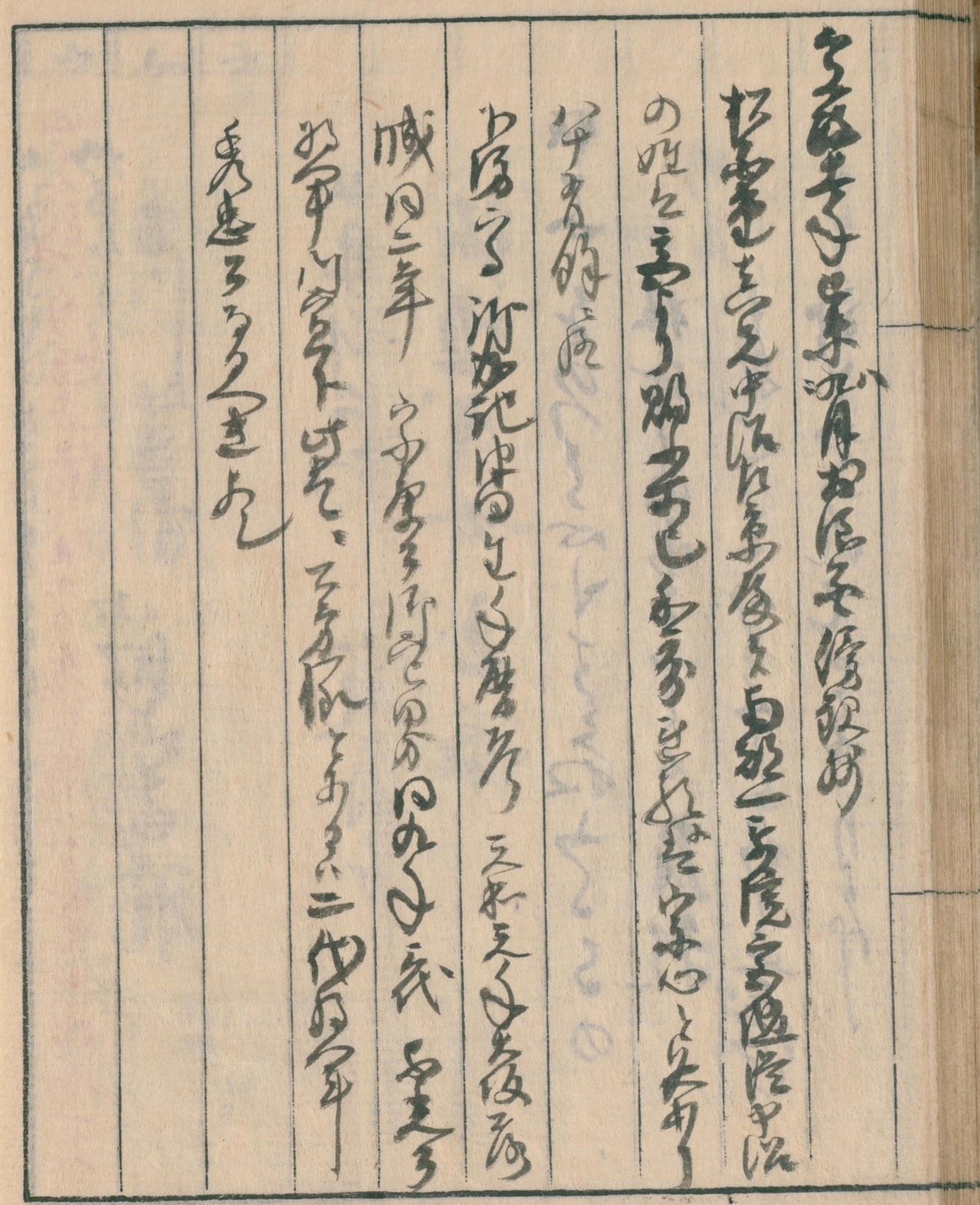
国立国会図書館　タイトル『男山栞』 請求記号 せ-81

ガラス使用

賑ふ をのつゝ心ましまねかるゝの
極斤の光やる 月影
これくこあるをとこれも無慶の
神とやられてやるりけ

国立国会図書館　タイトル『男山栞』 請求記号 せ-81
ガラス使用

せ
特別
81



国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号 せ-81
ガラス使用

せ
特別
81

国立国会図書館　タイトル『男山栞』 請求記号 せ-81

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『男山栞』　請求記号　せ-81

ガラス使用